

平成30年第1回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成30年3月 2日 (開会)

平成30年3月15日 (閉会)

○議長（小林信） 次に6番 大城戸ツヤ子君の発言を許します。6番、大城戸ツヤ子君。

（6番 大城戸ツヤ子議員 一般質問席登壇）

○6番（大城戸ツヤ子） それでは、集住型宿泊交流拠点施設の管理業務体制について、2点質問いたします。

この施設は住民だけでなく、他の市町村からも注目されています。

1月23日は議員全員協議会が開催されました。この施設について長時間審議されました。多分、その時に審議された内容をもとに、管理人業務募集が作成されたものと思います。

募集要項によると、勤務時間、職種、賃金、その他にホテルや旅館業経営者等で、実に簡単な内容でした。

この業務は臨時の管理人スタッフだけでは上手くいきません。職員全員が関わるといいますが責任感が伴いません。企画・運営に長けた担当職員が必要だと思います。管理人業務内容と担当職員業務について教えていただきたいと思っています。

次に入居の条件について伺います。

新築アパート入居の選考基準は消防団加入、地域ボランティア活動に積極的に協力する方を優先すると書かれています。では、消防団加入ということは先ず男性ということですね。

次に地域ボランティア活動に積極的に参加するということは、それでは、上小阿仁村でボランティア活動とは、どんな活動のことを指しているのでしょうか。その協力の見極め方はどんなふうにするのでしょうか。それから、部屋を借りる時、先ず、実際に部屋に入って中を見ますと思いますが、特に、今回は、新築ですから目で確かめると思います。しかし、今回の募集は設計図のみです。

1月23日、現地を見学しました。工事の進捗度は60%でしたから、私は、完成時の部屋の雰囲気は想像できませんでした。

また、アパートの入居申込みは3月9日です。しかし、入居予定日は募集要項には書かれていません。

1月23日の全員協議会では、4月1日には児童クラブが利用するというものでした。アパートの入居可能な日を予め記入した方が親切だったのではないのでしょうか。計画としてはどうでしょうか。入居申込みは締め切りまで1週間あります。3月1日現在の申込み数があるのでしたら。質問以外ですがお知らせいただきます。

以上です。

○議長（小林信） 村長、答弁を許します。

(小林悦次村長 登壇)

○村長(小林悦次) 集住型の宿泊型交流施設管理人の業務内容であります。

管理人の業務内容であります。管理人については、募集内容でご説明させていただきますと、週5日勤務のフルタイムの方が1名、週3日勤務の宿日直の方が3名の募集を行わせていただいております。

特にフルタイムの方には、施設の利用促進、スケジュール管理、施設及び村のPR等を含めた形での業務内容をお願いしたいというふうに考えております。

イベント等のソフト事業の実施につきましては、各課の担当がそれぞれ事業実施をしていくというふうなことにしています。例えば、中学生のイングリッシュキャンプや若者交流等であれば教育委員会が、それぞれ予算も計上していますので、その中で施設を活用していくことでやらせていただきたいと考えております。

入居者の条件につきましてはでありますけれども、アパートの入居者につきましては、この施設の設置条例で料金等を定めまして、規則によって運用をさせていただきたく。そして、上小阿仁村村営住宅管理条例を準用してやらせていただきたいというふうに考えております。

募集に当たっては、村内外を問いませんが、入居には住民登録をしていただきたい。また、所得による家賃ではなくて定額とさせていただいております。なお、先ほどお話がありました消防団加入や地域ボランティア活動に積極的に協力をしていただける方を優先的に入居していただきたいと考えております。

それからレンタルルームにつきましては、村内で事業や活動を行いたい法人、個人、グループなどを対象に考えております。いずれも、書類審査とプレゼンにより選考をして、決定をさせていただきたい思っております。

それから、入居の可能日でありますけれども、4月1日から入居可能ということで、今、対応させていただきます。

それから、現時点での申込者数につきましては、2人がきている状況であります。

以上であります。

○議長(小林信) 大城戸ツヤ子君。

○6番(大城戸ツヤ子) 先ほど武石議員にもお話してありましたけれども、この募集のお知らせが、すごく詳しくてと、お話していましたが、私から見たら全く詳しくありません。まず、今申し込んだ2人は男性なのかどうか分かりませんが、消防団加入、地域ボランティア活動、これは名前だけで募集申込みを体裁でつけたのではないのですか。

例えば、地域ボランティア活動と言った時、私、特に思い出すのは、基本的

には上小阿仁の人はボランティア活動積極的です。その中で、私が1番感じているのは、春と秋の清掃があります。それは6時からで、各集落一斉にやるのですけれども、役場職員の皆さんには申し訳ないです。協力している方もいらっしゃるかもしれませんが、先ず職員として働いている方々は清掃には出てきません。それは小沢田だけで言ってしまうと失礼かも知れませんが、何回見てもそうです。

それで、ボランティア活動に積極的、どういうボランティア活動を要求するのかちょっと分かりませんが、私は、やっぱり働いている以上、普通で言えば5日間、あと土日がボランティア活動に積極的に参加することではないかなと思いますが、そういう体制は見受けられません。

ですから、やはり、この集住型を活発にする今計画していることを総合的にやるとするのだったら、もっと職員のボランティア活動に対する意識を高める必要があると思います。

まず、婦人会あるいは老人クラブ、いろんな団体がありますけれど、皆積極的にボランティア活動に、この村を支えているというのは、私1人だけではなく、皆当たり前、そう思っていると思います。

それで、1月23日の全員協議会の審議内容は、多分記憶にございますでしょうか。

簡単にまとめますと、オープン時が肝心、即ち、最初が肝心と言っているのです。企画、運営に長けた人、対応能力のある人を採用するようにと。お金は少しかかるかもしれませんが、けれども、最初が肝心だからということですが、あくまでも、今、村長の考え方では、全体で企画する。では、その全体で企画してもどこがそのとりまとめをするのですか。

そういう対外的なことも進めるような担当者が必要だと思っているのです。だって、募集にホテル、旅館業の経験値を求めていますけれど、では、この人達は、シーツを替えるあるいは何かを替える、そういう時の経験を生かそうとして、これを読んでいるのですか。私は、単にスポーツの合宿になるような施設ではなく、様々な誘致につながるような施設でなければなりません。それは企画運営のできる人です。リーダーが必要だと思います。

如何ですか。よろしくお願いします。

○議長（小林信） 村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 最初にボランティアの関係ですけれども、ボランティアに理解をしていただいている方を優先的に、できれば入っていただきたいというふうなことであります。

ボランティア活動につきましては、いろいろな言い方をされる方も居られるわけですが、例えば、本来のボランティア活動というのは、いわゆる金品の代償をもとめない。また合わせて、いわゆる言葉の代償を求めない。あくまでも人のために、自分のためにやるということのようであります。ですから、実際に、もしかしたら活動しているのが、見えない方も居られるのかもしれませんが、そういう考え方をもった理解のある方に、できれば入居していただきたいというふうなことであります。同様に、消防団活動につきましては、もしかして入っていただけることが一番いいのだと思うのですが、なかなか人それぞれに事情がありますので、だだ、少なくとも消防団活動に、いろいろな形でご理解をしていただけるような方に入っていただきたいというふうな意味での内容になります。

それから、オープン時のスタートが大切である。そして、賃金についても、いろいろご指摘をいただきましたので、それから人数の運用の関係につきましても少し見直しをさせていただいて、今回、募集をさせていただいているというふうな状況にあります。当初説明させていただいた賃金の単価についても少し上げさせていただいて対応した経緯があります。そういう意味でシーツを替えるとか、どうのこうのということを考えての対応ではなくて、あくまでも、いわゆる施設運用の段階でのスケジュール調整とか企画の調整とか、いろいろな形で村のPRも含めた形での管理ができるような方には是非ともお願いをしたいと、そういう時になかなかスケジュール調整等についても、ホテル、旅館等においては、いろいろ難しいものがあるというふうに聞いておりますので、できれば、そういう経験のある方、もしくは知識のある方がおられれば、そういう方々にお願いができないかというふうな状況での募集をさせていただいている状況であります。

以上です。

○議長（小林信） 大城戸ツヤ子君。

○6番（大城戸ツヤ子） わかりました。あまり積極的な体制になっていないということがよく十分わかりました。

では、入居の件でもう一つ。先ほどお答えにもありましたけれども、このアパートの入居の対応は、村営住宅入居のしおりに基づいて、今後運営、管理されていくということでしたが、入居するにあたり必要な書類を提出しなければなりません。その中で、連帯保証人の条件として村に住んでいること。親、兄弟、家族以外の第三者となっています。この件については、昨年、6月議会でも質問しました。また、9月議会の総務産業常任委員会でも審議しました。

要は、親族は保証人になれません。友人や知人が保証人になったとき、入居

者と同程度の収入や納税証明書などを添付しなければなりません。

保証人というとすごい責任が伴います。親族以外の方がすんなりと保証人になってくれるとは少ないでしょう。審議から6カ月あまりが過ぎましたが、この条件の見直し等の改革はされたのでしょうか。

○議長（小林信） 答弁を求めます。村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） アパート入居に関することについては、条例、いわゆる設置条例を作っております。そして規則。条例、規則の中で公営住宅設置条例を準用させていただくというふうなことの中で、入居のチラシの部分については、まだ、細かいところまで私聞いていませんので、これから協議させていただきたいと思います。

○議長（小林信） 大城戸ツヤ子君。

○6 番（大城戸ツヤ子） さっき、お話を聞く限り村営住宅入居しおりに基づいて運営すると、私は聞きましたけれど。条例を準用する、それはいいですけども、でも、この中の連帯保証人というのは活かされているわけですよ。ですから、今後、やっぱり、これから短期に滞在型やお試し住宅あるいは定住、移住等積極的に進めるのであれば、まず、村民が住みたい気持ちになれるような環境づくりが大切だと思いますので、ぜひ審議してください。

以上です。

○議長（小林信） 答弁はよろしいですか。

大城戸議員に申し上げます。一般質問の途中でありますが、ここで一旦質問を中断して、午後から2つ目の質問で再開するというのは如何でしょうか。それとも続けますか。

（「続けて欲しいです。差支えなければ」という声あり）

○議長（小林信） はい、続けます。大城戸ツヤ子君。

○6 番（大城戸ツヤ子） それでは、村のキャラクター「こあぴょん」の活用方法について、2点質問いたします。

村のPRオリジナルキャラクター「こあぴょん」が誕生して、間もなく1年を迎えようとしています。村の行事や村をPRするイベントに出演する機会が増えていることは喜ばしいことです。このキャラクターを使ってセールス事業を進めていくべきだと思います。

道の駅の社長が代わりました。社長が代わったらいいことが増えたとある会で村長はお話をしています。

道の駅かみこあにとのコラボが必要だと思いますが、如何でしょうか。伺いたいです。

次に「こあぴょん」PR対策についてですが、このこあぴょん着ぐるみの制作業務には117万円くらいかかっています。

PR活動に追われているそうですが、それは企画運営に伴ってでしょうか。それとも依頼申請によるものでしょうか。

庁舎内では、普段、こあぴょんの姿は見られません。多分、山の中へ行っているのでしょうか。庁内玄関にこあぴょん人形を置いて玄関を明るくし、来てくださる皆さんに笑顔をプレゼントしたら如何でしょうか。さらに、道の駅かみこあにの玄関入口では、お客様を迎える対策はできませんでしょうか。作った以上、費用体効果は当然です。

役場の茶封筒には白黒のこあぴょんが印刷されていますが、カラーではダメなのではないでしょうか。白黒ではちっとも可愛いとは思えません。イメージとしてもよくありません。以前、茶封筒にはコアニドリはカラーでした。ゆるキャラは見てホッこりし、心を癒してくれますが、直ぐにも飽きられてしまいます。PR対策について伺いたいと思います。

○議長（小林信） 村長、答弁許します。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） 村のキャラクターこあぴょんであります。小中学生に選定をしていただいて本当に良かったと思っております。何とかしてもっともっと活用しながら対応してしていきたいということで考えております。

道の駅上小阿仁とのコラボというふうなことであります。2年目を迎えるキャラクターですけれども、先ほど議員から言われたとおり等身大のフィギュアの作成も今回予算計上させていただいております。また、できれば記念撮影用の板も併せて対応しながら、これについてはできれば道の駅の方で活用していきたい。いわゆる村の顔である道の駅で、玄関若しくは、そういう場所で等身大のフィギュア、そして、記念写真等の撮れる板を設置しながら、たくさんのお客さんをお迎えしていきたいということで考えております。

また、新しいイラストを作成することとしておりまして、これを活用しながら新しいの商品の開発、発展につながるように努めてまいりたいというふうに思っております。

あと、こあぴょんのPR対策でありますけれども、今、先ほどもお話したとおり等身大のフィギュア、そして記念撮影用の板、合わせて、できるだけ親しみの持てるキャラクターにしたいということもありまして、少しだけ予算措置をさせていただいておりますので、詳しくは予算委員会の中で説明させていた

だく訳ですけれども、内容的には缶バッチの作成とか、クリアファイルの作成、いろんなイラスト等も含めて著作権の登録、それから絵描き板の作成も考えさせていただきたい。それからイラスト制作等を、合わせて先ほどのフィギュア、それから写真の板等を予算計上させていただいております。

これまで、議員から言われたとおり、依頼を受けたもの、そして、こちらでなんとしてもPRしたいということでの対応で、移住定住者募集のイベント、それから武蔵野大学大学祭、北秋田警察署の1日署員、赤い羽根共同募金のイベント、年輪ピック市町村PR等のイベント等に出させていただいている。また、村のPR、そして村の特産品のPRのために一生懸命やらせていただいているというふうな状況であります。

それから、ご指摘ありました、ご提言のありました封筒のカラーの部分については、是非とも検討させていただいて、やれるような方向で検討させていただきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

○議長（小林信） 大城戸ツヤ子君。

○6番（大城戸ツヤ子） 今、そういう人形フィギュアとかの名前があがってきましたけれども、今、道の駅にはこあぴよんのキーホルダーのみが販売されています。

例えば、大館能代空港には、秋田犬の縫いぐるみ、ソラ、ハルちゃんが客を迎えているそうですが、私は、まだ、東京に行く機会がないので見ていませんけれども、早めに行って、そういうをチョッと見て確かめたいと思いますし、また、北秋田市では人気のキャラクターの使用ということで、大々的に、かなり大きい金額、予算をたてていました。

それから、秋田市のあるお菓子屋さんでは、人気キャラクターを使用して売上を伸ばしていると聞いています。是非、上小阿仁でもそういう、今村長のお話がありましたけれども、それではまだ足りない。食べ物が全然見えてこない、と私は思っています。

ということは、去年の10月、こあぴよんのパンがお試しに販売されました。1個500円でしたけれども、11個しか売れなかったそうです。というのは、その当時予約は値段も付いていませんでした。私は予約いたしましたので、ちょうどその時が五城目と上小阿仁間の駅伝大会が開催された時でして、役場の駅伝仲間達と、その開発センターの前で、皆で勝手に大きいパンをとって食べました。コハゼのアンで甘酢っぱさとパンのモチモチ感がマッチしていて、とてもおいしかったのを覚えています。なんでも、小さいこあぴよんの乾パンを作りたいかと思ったのですが、それは現在ストップと。道の駅に入っているパンは人気だそうですから、是非、商品開発はしていただけないでしょうかとあって

います。

というのは、去年、上野動物園でパンダが生まれました。私は、その当時東京の上野の公園にある一角でお昼のランチをしたのですが、その当時、何にも知らなかったのですけれども、これはお祝いですからということで、パンダを書いたパッケージ、そういうお菓子を来た皆さんに、ご飯を食べたいろんな人達にそういうのを、たまたま偶然ですけれどもいただきました。

やっぱり、そういう意味で地域が盛り上げてやっているのです。もう商品、商業登録とか、難しいとことはいっぱいあるかもしれません。しかし、前向きに捉えていかないと遅れることになります。だから、冒険も必要なのです。

例えば、上小阿仁の和菓子屋さんがあります。もうここも一生懸命頑張っているのですけれど、味には飽きてきている方もあるのではないかと思います。私は、是非、提案してみても如何でしょうかと思っているのです。

コハゼのアンを入れたこあびょんまんじゅうをつくる。それで形が大変だったら、こあびょんの型のハンコをまんじゅうの上にトンとのせるのです。そうすることと、あとはそれに対して商業登録とか、商品登録、よく言葉かわからないのですけれども、その売上の何%リベートをもらうとか、という方法だって考えられるはず。それはあくまでも上小阿仁のコハゼを使ってもらうとか、あるいは、そういう意味で条件をつければいいことで、きっと新しい商品開発にはのってくれるのではないかなあと、私は勝手に思っているのです。

それで、後は今シール、お話がありましたけれども、上小阿仁産の食材或いはいろんな産物に対しては、こあびょんシールを貼るなどして規制をしつつも挑戦をしないと、やっぱり、これから攻めの商売をしないといけないと思います。

キャラクターづくり、さらにこの道の駅のコラボ、私が今提案したお饅頭とか、そういうパンとか、そういうのは、村長、如何ですか。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） せっかくできたこあびょんですので、何とかしてもっともっと活かして、村のために活用させていただきたいということであります。

とりあえず、先ほど説明をさせていただいた予算措置はさせていただきましたけれども、食品関係の特産品開発等についても、併せてこれから是非とも検討させていただきたいというふうに思います。いずれ、シール等についても新しく作りたいと。正面だけでなく、いろんな形でのイラストも、これから作成をするということで計画を立てておりますので、そういうものができ次第、併せて、食品の方にも活用ができるような形で、村内の業者も含めてご協力お

願いしていきたというふうに思いますので、また、いろんな形でご指導いただきますようお願いを申し上げます。

○議長（小林信） 大城戸ツヤ子君。

○6 番（大城戸ツヤ子） 今、回答いただきましたけれども、やっぱり道の駅でも積極的に頑張りたいと、厚い壁があるのだというふうに言っております。ですから、その壁を払って食べ物のコーナにも直進してほしいです。

現在、着ぐるみこあぴょんは役場職員が着ていると思います。私は。それ以上はどういう状況になっているか中味はよくわからないのですが、今、提案した人が責任を感じてきているのではないかと思います。そろそろ職員でなくて学生を起用してはみたらどうでしょう。登録制にしてアルバイトのシステムを取り入れて、もっと誰でもがこあぴょんに親しむような雰囲気作りをしては如何ですか。

それで、職員の負担を軽減すべきだと思いますが、如何でしょうか。お聞きします。

○議長（小林信） はい、村長。

（小林悦次村長 登壇）

○村長（小林悦次） いろんな形で対応を、これから検討する必要があると思います。ただ、いろんな形で直ぐ対応ができるようなことになるかどうか、少し状況によると思いますので、いろんな形で検討させていただきたいというふうに思います。

○議長（小林信） 大城戸ツヤ子君。

○6 番（大城戸ツヤ子） ありがとうございます。わかりました。先ず積極的に考えてみてください。

日本全国、自治体の数ほどユルキャラは作られています。作った以上は有効活動をして収益に繋げることが必要です。

道の駅にもチャンスを与えてください。商品開発に繋げてほしいです。

最後にですが、4 日は東北農民管弦楽団の演奏会がありますが、東京、北海道、東北一円のお客様が足を運んでくださると信じています。是非、こあぴょんの応援をお願いいたしまして、質問は終わりといたします。

○議長（小林信） 以上をもちまして大城戸ツヤ子君の一般質問を終わります。